



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

Share Rotary-

みんなにロータリーを

Serve People

みんなに奉仕を

1983~84 R.I 会長 ウィリアム E. スケルトン

長谷川会長 クラブターゲット 青少年の心にロータリーのほほえみを

第 268 回 例会 58 年 10 月 27 日 第 274 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
48 名	41 名	89.13 %	100 %

欠席者

南川、三浦、杉山、竹之内、山中
(病欠承認者 2名)

本日のプログラム 11 月 10 日

卓話「ロータリー財団学生の現況報告」

次週予定 11 月 17 日

クラブフォーラム「社会奉仕について」 高橋政勝君

司 会 副SAA 伊藤英夫君

ソングリーダー 上村幹雄君

「奉仕の理想」

ゲスト

加島 淳氏 (第 259 地区ガバナー)

大岩 真氏 (第 11 分区代理)

ビジター

星幸男君、安藤忠夫君、藤本孝君、道岸唯一君、
石井勇君、河野重康君、龜山洸君、上田稔君、
山口隆光君、斉藤忠一君、目代秀夫君、森下大君
山崎善三郎君 (大和)、野島幸雄君 (座間)
小倉武君、佐藤琢君 (大和田園)

会長報告

会長 長谷川清一君

本日は国際ロータリー第 259 地区の加島ガバナーが当クラブを公式訪問されました。午前中加島ガバナー並に大岩第 11 分区代理と会長、幹事の懇談会がありました。加島ガバナーは大変ザックバ

ランなお人柄でありますので楽しいクラブ協議会になると思います。

幹事報告

幹事
古木勝治君

次週 11 月 3 日は祝祭日に当りますので例会は休会となります。

委員会報告

国際奉仕委員会 委員長 鈴木久次郎君

①東慶州姉妹クラブ訪問……釜山国際空港に東慶州クラブの会員の皆様の歓迎を受け感激しました。創立 5 周年式典は 1984 年 4 月の予定だそうです。ご夫人同伴で多数ご参列をとのことです。

②ナザレ園訪問…… 259 地区よりの暖いご援助を衷心より感謝していると言付がありました。

クラブ会報委員会 副委員長 福本國雄君

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心 1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南 1-4-4
八千代信用金庫大和支店 4 階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分より
会長：長谷川清一
会長イレクト：猪熊唯夫
副会長：上田利久
幹事：古木勝治
会報委員：杉山・福本・菊池・三浦

①会報のバインダーが出来て参りましたので申入れた方は事務局で受取って下さい。

②本日配付の第272号会報にミスプリントがあります。訂正してお詫びします。

ゴルフ同好会 **会長 上村幹雄君**

4クラブ合同のゴルフコンペが11月22日、箱根湖畔ゴルフコースで行われますので多数のご参加をお願いします。

親睦活動委員会 **委員長 橋本健彦君**

本日のお祝の方々をご紹介します。

御夫人お誕生日 神作彰君道江夫人(10月27日)
種ヶ島実君朝子夫人(11月3日)
結婚記念日 近藤富士男君(11月3日)
後藤 定毅君(11月3日)
鈴木久次郎君(11月3日)
創業記念日 原田 穆君(11月4日)
入会記念日 二見 長幸君(55年10月30日)
高橋 政勝君(55年10月30日)

卓話要旨

第259地区ガバナー
加島 淳氏

私は67回目の公式訪問を当クラブに於いて行いますが、66のクラブでお話した事をくり返しお話しします。今年度の会長さんは全て、「みんなにロータリーを、みんなに奉仕を」と言っておられます。私は本当にそれを達成するための前提条件として3つの事を本当にやりとげないとその目的達成は出来ないと考えています。①ロータリーに対する改善と近代化、②ロータリーの今迄のやり方の再検討、③ロータリーの魅力づくり、この3つの前提条件を満足させる必要があると思います。①体質の改善と近代化というのは昨日今日言い出した事ではなく、44年初のIPSでスピーチをした時にロータリーを外部からみて客観的にどの様な感じを抱いているかを卒直に5つの課題という事で話をしました。(1)もう少し地域社会に密着したロータリーになるべきである。(2)ロータリーの活動が時代の変化に即応しているかどうか気を付



けねばならない、(3)ロータリーの若返り、(4)諸事業の実質的成果があがったかどうかの配慮が必要である、(5)ロータリアンになるとエリートになった様な気になってどうも1人よがりになる傾向がある、この様な事ではいけない。この様な事を15年前に申した訳です。現在もほとんど変わっていないと言っても過言ではありません。もしお仕事を14年、15年前と全く同じ事をやっていたのでは今日はたして生き残っているだろうか、しかるにロータリーは体質改善をしていないのに拡大しているのか良く考えてみたいと思います。②諸活動の再検討という事は今迄やって来た事を慢然と受けつがれている傾向が強い、従って私は各活動の本来の目的は何か、目的達成のためにこのやり方は最適であるか再検討し、改善の必要があればこれを改善する。改善してなお最善の努力をしても成課が期待出来ない様であれば新しいテーマに取り組むべきである。③のロータリーの魅力については2つの事を強調したい。1つは親睦を増進すること、これは単に今迄の表面的な付き合いではなく本当に裸の付き合いが出来何んでも言い合える関係がクラブ全体としてその様になるという事が望ましいと思います。これは言うは易く行う事は非常に難しい事でこれは日本の国民性の問題からもそれが言える訳です。私は良く言うのですが今や肉体年令の時代は過ぎた、精神年令の時代に入ると、肉体年令だとすると1日違いの先輩でも一生かかっても追い抜くわけにはいかないが精神年令

という面からみるといくら若くともはるか年ばいの人より立派な考えをもって行動することも出来る。年をとった人も自ら勉強し努力することによってふけ込まないで新しい考えをもつそういった面で肉体年齢を超越した交際をロータリアンがする事によって親睦範囲を広げてゆく事が出来る。ロータリークラブは世界的な団体であり、国際化社会の現在海外との関係を見捨てる事は出来ない。日本は国際化の対応が下手ですが、せめてロータリアンは国民性を超えて肉体年齢よりは精神年齢を重視し親睦を深め何でも相談出来る又気付いた事は進んで言ってあげるといふものを礎く必要がある。その上にもう1つ強調したいのは皆さんは異業種の事業を経営している人々です。現在世界情勢は非常に不安定であり、我国の財政も完全に行き詰まっている。この様な中では今迄の様に内部の人々の努力だけでうまくやってゆく事は非常に困難である。出来るだけ外部の人々の助言批判その他を必要となっているのが現状です。ロータリアンは比較的小さい事業をやっている人が多いわけです。さらに苦難は多いものです。事業経営上直面する諸問題は全ロータリアンの関心の的でないといけない。事業がうまく行かなくてどうして奉仕を出来るのでしょうか。私は事業経営上直面する諸問題に対する自己研鑽と相互啓発の場としてロータリー例会その他の機会を生かす事が出来たら恐らくお入りになっている皆さんもロータリーに入って本当に良かったと思われるでしょう。時代が変わりつつある中でロータリーが更に伸びてゆくのは非常に難しいと思う。体質改善が10数年出来ないでいるのは一言で言えば皆さんがマークをつけたとたん麻薬中毒にかかった様になり本来お持の常識とかをロータリーの中で生かせない、なただけで喜んでる様な人々がまだたくさんいる。もうあと数年で戦後生れの人々がどんどん増えて来ます。戦前生れと戦後生れとではその考え方に大きな相違があります。私は戦後生れの

人にどういふ動機でロータリーに入ったか、ロータリーはどうあるべきか等を見匿名のアンケートを出してもらおう事にしてあります。その様な事で体質改善をしなければならぬ。私はせきやく縁あって同じ地区の人々、しかもトップクラスの人々の集りですからこれを生かして本当に皆んなの役に立つものにならなければならないという問題意識をまずもって頂き度い。二番目には皆さんが本来お持の社会人あるいは事業人としての秀れた良識をロータリーの運営面に幾分でも生かして頂くことが私が申し上げた様な形に自らなって生くとお思います。決して難かしい事を申し上げているのではなく今迄マークをつけただけで満足されてその運営に無関心であられた事が将来への不安を醸成した形になっているとお思います。ぜひ皆様そういう事をこの辺で一度反省をお互にして輝やかしい将来に向って努力を致したいと心から念願します。有難うご座居ました。

第4回クラブ協議会要旨

(ガバナーコメント)

各委員会のご報告を受け皆さんが心一つにして最も意義のあるみんなの為になるクラブを作ってそれをうまく運営して行こうという一致した考えでお仕事をしていらっしやるという事を聞いて非常に喜んでおます。委員会活動その他も無論大事ですがせきやくこの地域の異業種の方々のトップクラスの方々の集りでありこの縁を是非生かしてみんなの為になる楽しいクラブにするという意識を皆さんがまずお持になることが必要です。自分達の仕事が出来て生きその力をもって世の中に奉仕しようという風な事を一致したお考えをもたれる様に会長さん始めいろいろご努力をしていただけたならさらに委員会のご努力がもっと多量のものになるのではないかとお思います。

お聞きした中でいろいろな事がありますが1つ2つ申し上げると、SAの方これだけの事を2人でおやりになるのは大変ですね、親睦委員会のご

協力を得られて非常に結こうです。中には私語の話も出ていましたが私は私語をやめる事は無論必要ですがスピーチをされる会員の方が勉強されて話し方如何によって私語が出る場合があるこれも1つの勉強になる訳です。

スマイルの問題についても色々ご希望がある様で皆さんが喜んで出すという形でないとふんだくられたという形では困ります。ある地区ではビジターからスマイルを取るのの止めたいというのがあります。そういう地区もあるという事を念頭において頂き度い。

ロータリー情報の委員長さんから非常にいろいろなお話をうかがって勉強になりました。私のいう精神年令時代を意識され皆さんが努力されたらよいと思います。広報、情報を通して言えることは、情報化時代にあってロータリーの場合は実体があってその真実を知らしめるための情報でなければならないと思います。

プログラムでは出来るだけ全員の人に話をして頂くという事を主体として居られる様で誠に良い事だと思います。人生道場という意味で勉強に来るのですから話は上手になる物です。非常にご苦労さまですが是非よろしくをお願いします。

職業分類、会員増強、選考については充填、未充填にあまりとらわれず将来伸びる素質のある若い人を入れてそれを育てて行く方向でお願いします。親睦については、ご家族の正式な認識を受けている事は必要な事であり家族の方を入れての行事は非常に結構なことだと思います。出席の方も色々ご努力の上年輩の方の方が完全出席の人が多いという事は大変勉強になりました。出なければ損だという例会に各委員会とご連絡され一步一步進めて頂き度いと思います。国際奉仕については中国問題について先べんをおつけ頂いた事に対して非常に心強く思っています。財団、米山については皆さんの出された寄付が真の意味において生きて来る努力を今後して行き度いと思いますのでひ

とつよろしくをお願いします。

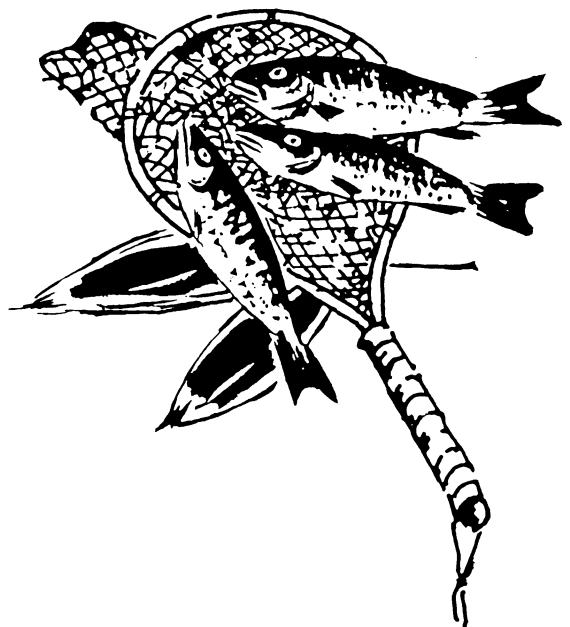
職業奉仕、社会奉仕については奉仕は個人がするというお考は全くその通りで、その地域社会において奉仕をする人の集りがロータリーであるということです。一つ大切な事は奉仕を受ける人の気持と社会一般がそれをどう見ているかが非常に大切な事だと思います。

青少年問題については大変難かしい課題ですがロータリアンとしてまず自分自身ロータリアンの一族から問題青少年を出さない、次にロータリアンの目に触れる周囲の青少年の行動に関心を持ち勇氣凜然とした態度で処して頂き度い。

全体として皆さん大変勉強されて居り有難く思っています。今後もよろしくお願い致します。

(分区代理コメント)

本年度ロータリーは会員増強の壁にぶつかっています。若い人と会員に入れることにより何とかこの壁を打破して行きたいと考えています。



23-34(II) (1923年の決議第34号)

ロータリー創立の当部、奉仕を以って困窮者に対する施しと考え、ロータリアン個人として、色々の善行をほどこしておりましたが、1908年にF、シエルドンはそれより質の異なる行動だと主張しました。その理由は大まかに言って次の二つとなります。第一はロータリークラブは一業種一会員制をとっておりますので、その会員数や財力から言っても社会問題の救済には不適格であること。第二は困窮者に全を出すことが必ずしも問題の根本的解決にならないことが多い。このような反省に立って奉仕はどうあるべきかとシエルドンは次の結論に到着したのです。われわれロータリアンが企業の管理者としての地位を得た所以は、元々われわれに一頭地高い精神の状態があったからであって、もし我々がロータリーの例会を通じてその心を磨いた場合、その自己改善の功德は必ずや職場その他ありとあらゆる生活を通じて周囲の人々を潤すことになる。職場においては従業員が、業界においては同業者が、家庭においては家族が、そして、一般社会においてはすべての社会人がロータリアンの人格に傾倒するようになれば、それ即ちロータリーの奉仕になるものと考えられたのです。

このようにしてロータリーの奉仕は各個人の精神の質の向上とその実践であると考えられたのです。

このような状況の中にあって、1912年以降のことなのか、シラキューズクラブ以下数クラブは身体障害児の養護施設が当時なかったことから、これらの社会問題の重要性を肩過すべからざるものと考え、クラブの財源を以って団体的に救済事業を起し、大きな貢献を社会に与えたのですが、ロータリー哲学の正統派は、奉仕はあくまで個人的精神的たるべく、団体的奉仕の如きは、ロータリーの本質にもどるものと非難し、ロータリーの分裂の危険が生じてきたのです。実はこの対立を解決し団体的社会奉仕のあるべき姿を示したのか、この決議34号なのです。(北砂記)

スマイルボックス

加島ガバナー 寸志

大岩第11分区代理 寸志

大和RC 星 会員 本日もよろしく

安藤会員 本日も又お世話になります。

藤本会員 今日はガバナー訪問日にお邪魔します。よろしく。

道岸会員 御世話になります。

石井会員 本日も宣しく。

河野会員 御世話になります。

穂山会員 いつもお世話になります。

上田会員 お世話になります。

山口会員 お世話になります。

齊藤会員 本日もよろしく。

目代会員 お世話になります。

森下会員 お世話になります。

山崎会員 お世話になります。

野間RC 野島会員 久しぶりにお伺いしました。よろしくお願い致します。

大和田園RC 小倉会員 又おじゃま致します。よろしく。

佐藤会員 ときどきお邪魔します。よろしくお願い致します。

長谷川君、古木君 加島ガバナー本日はようこそおいで下さいました。よろしくご指導をお願い申し上げます。

猪熊君、加島ガバナー、大岩分区代理のご訪問に敬意を表してスマイルします。

後藤君 結婚祝いを有難うご座居ます。12回目ですが当日は仙台で人の結婚式に二人で参加するので昔をしのび愛を確認して参ります。

橋本君 テレビをごらんの皆様に対しおわびのしるしにスマイルします。

神作君 ワイフの誕生日の祝有難うご座居ます。今日は早く帰ってサービスします。

鈴木君 結婚祝有難うご座居ます。何回目かは忘

れましたがこれからも女房を愛します。

近藤君 結婚記念のお祝い有難うござ座居ます。

種ヶ島君 女房の誕生祝い有難うござ座居ます。

原田君 創業を祝って頂き有難うござ座居ます。

お蔭様で30年を迎えました。

高橋君 入会記念日のお祝いありがとうございます。

お蔭様で4年目を迎えました。今後共よろしく。

二見君 入会記念日を祝って頂き有難う、申し訳ありませんが他の会合が控えていますので中座させていただきます。

長野君 2週続けて休みましたので

一口メモ

スピーチに強くなるコツ

話そうとする意欲を持つ 大勢を対象に話す必要性や意義に目を向けよう。スピーチに強いことは今や社会人にとっての必須条件であると自覚すれば話す意欲も湧いてこよう。

流した汗の量だけ上達する スピーチの名人といわれる人も、初めからそう上手に話せたのではなく、機会あるたびに話をし、その経験が生かされて上達したのだろう。体験を踏み十分な準備が上達の何よりの薬である。

＝ まとめ方の留意点 ＝

- 目的と主題を明確につかむ
- 主題を支える話材を選択する
- 筋を一貫させる
- 効果的展開を考える（順序や配列の工夫）
- 話し出しと結びをとくに工夫する

＝ 表現するときの留意点 ＝

- 生き生きとした気持で話す
- 声のひびきや調子を明るくする
- 話の区切りをつけ、ひと呼吸、間をとる
- 平板にならないよう変化をつける
- とくに暗記、棒読み調にならないよう注意する

＝ 安定した姿で話すための留意点 ＝

- にこやかな明るい表情を保つ
- 背すじを伸ばし胸をはる

◦ 手の動き（クセ）に気をつける。

真剣に話す誠意が大切 思った通りに話せないのを気にするより、下手でもよい、今、聞いてもらいたい事柄をすなおに精いっぱい話すようにすることだ。たとえ思い通りに表現できたとしても相手が聞いてくれなければそれまでのこと。精いっぱい、真剣に話そうとする誠意が聞き手に通じたとき、必ず聞いてもらえるはずである。

大勢でも一人と同じ 大勢の人という人間はいない。たとえ百人千人に向っている場合でもそれぞれの人は皆、一人ひとり個人の気持で話し手とかかわっている。つまり1対1で会話しているのと変わらないのである。そう思うことで随分気持からくなるだろう。聴衆から受ける圧迫感も消え、親しく一人ひとり向き合っている自分の姿が取り戻せる。

より素直な気持になる 「正直な人は皆あがるのだ」と思うがよい。失敗したくない気持が、かえってあがることを助長する結果になると気付きたい。素直にさらに素直になるとだ。醜態をさらしていると自分で思うほど、他人は気にしていないのもたしかだ。ゆったりと肩の力を抜き深呼吸すれば、堂々と話す自分が甦ってくる。決して自分にマイナス暗示をかけないことがスピーチに強くなるコツと私は思う。

（言論科学振興協会指導局次長 本田操子）